

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	日本語2（Japanese 2）		
ナンバリングコード	B00806	大分類 / 難易度 科目分野	教養基礎(教育)科目 / リメディアル
単位数	2	配当学年 / 開講期	1 年 / 前期・後期
必修・選択区分	選択		
	※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	A023151	クラス名	-
担当教員名	平野 ゆみ		
履修上の注意、 履修条件	・「日本語2」は留学生対象の科目です。 ・前期開講「日本語2」は能力別に2クラス（一般、基礎）、後期開講「日本語1」は1クラス編成で行います。 ・前期開講「日本語2」はクラスによって授業のスピードや内容が一部異なります。 ・指定された教科書は必ず購入してください。購入していない学生は受講を認めません。 ・6回以上欠席した場合は評価を受けられません。		
教科書	・『新訂版 読むトレーニング 応用編』(スリーエーネットワーク) ※必ず購入してください。		
参考文献及び指定図書	・『聴くトレーニング 応用編』(スリーエーネットワーク) ・『日本語総まとめN3 語彙』(アスク出版)、『日本語総まとめN3 漢字』(アスク出版)		
関連科目	日本語1、日本語3、日本語4		

○基本情報		
授業の目的	・日本で生活する上で必要となる日本語力、学部での講義理解や諸活動に必要な日本語力の基礎的な力を身につける。 ・読むことと聴くことの練習を通して、総合的なスキルアップを図る。 ・身近なテーマや話題について口頭で表現するための基礎的な力を身につける。 ・日本語能力試験（JLPT）N3～N2レベルの漢字力・語彙力を身につける。	
授業の概要	・クォーター制で授業は週2回あります。 ・毎回、読解と聴解の問題練習を行い、日常生活や講義理解に必要な語彙・文型・表現を理解し、運用する力の増強を図ります。 ・日本語による基礎的なコミュニケーション力を身につけるため、身近なテーマや話題についての簡単な発表や質疑応答の練習を行います。 ・必要に応じて、漢字・語彙練習や実践的な日常会話・ビジネス日本語の基礎的運用練習等も実施します。	
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「演習形式」
	(2) 複数担当の場合の方式	「複数クラス方式」
	(3) アクティブ・ラーニング	「プレゼンテーション」
地域志向科目	該当しない	
実務経験のある教員による授業科目	該当しない	

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100%)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【ディプロマ・ポリシー①】	日常のさまざまな話題について関心を持ち、積極的に課題に取り組むことができる。	10%		
【ディプロマ・ポリシー②】	大学生活における基本的な語彙や表現を理解できるとともに、基本的な応答ができる。	70%		10%
【ディプロマ・ポリシー③】	自分の専門や興味のある話題について、内容を理解でき、簡単な質問に答えることができる。	10%		

※教養教育科目及び教職科目については大学DP、専門科目については各学部DPIに準じています。

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)

取り組みの内容により総合的に評価します。達成水準の目安は以下の通りです。
[Sレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。
[Aレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。
[Bレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。
[Cレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。
課題のフィードバックは、次回以降の授業中に行います。

○その他

＜履修および単位認定等について＞
・留学生は全員、「日本語1」から受講してください。※編入学の場合については個別に判断します。
・「日本語1」「日本語2」のどちらか1つ単位取得できない、あるいは2つとも単位取得できない場合、「日本語3」「日本語4」を履修することはできません。注意してください。
・日本語能力試験（JLPT）のN2、N1合格者などに対する単位認定は「日本語1」「日本語2」では原則行いません。

＜欠席・遅刻などについて＞
・6回以上欠席した場合は評価を受けられません。
・20分以上の遅刻や理由のない途中退出、授業中の指示や注意に従わず、3回以上注意を受けた場合は退出させた上で欠席とします。

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画		科 目 名 担当教員	日本語2（Japanese 2） 平野 ゆみ	授業コード	A023151
学修内容					
1. 日本語能力チェック テストをして現在の日本語力をチェックします。					
予習	日本語1の学習内容について復習				約3時間
復習	オンライン課題ほか				約1時間
2. 読解・聴解トレーニング 聴解課題 学習生活語彙1 読解課題 練習問題・内容理解・質疑応答 ※語彙・漢字課題					
予習	教科書 pp. 22～27 必要な情報を探す読み方1 例題				約2時間
復習	オンライン課題ほか				約2時間
3. 読解・聴解トレーニング 聴解課題 学習生活語彙2 読解課題 練習問題・内容理解・質疑応答 ※語彙・漢字課題					
予習	教科書 pp. 30～35 必要な情報を探す読み方2 例題				約2時間
復習	オンライン課題ほか				約2時間
4. 読解・聴解トレーニング 聴解課題 学習生活語彙3 読解課題 練習問題・内容理解・質疑応答 ※語彙・漢字課題					
予習	教科書 pp. 38～43 対になっているキーワード 例題				約2時間
復習	オンライン課題ほか				約2時間
5. 読解・聴解トレーニング 聴解課題 学習生活語彙4 読解課題 練習問題・内容理解・質疑応答 ※語彙・漢字課題					
予習	教科書 pp. 46～51 接続語や指示語がキーワード 例題				約2時間
復習	オンライン課題ほか				約2時間
6. 読解・聴解トレーニング 聴解課題 学習生活語彙5 読解課題 練習問題・内容理解・質疑応答 ※語彙・漢字課題					
予習	教科書 pp. 54～59 数字がキーワード 例題				約2時間
復習	オンライン課題ほか				約2時間
7. 読解・聴解トレーニング 聴解課題 学習生活語彙6 読解課題 練習問題・内容理解・質疑応答 ※語彙・漢字課題					
予習	教科書 pp. 62～67 比喩表現がキーワード 例題				約2時間
復習	オンライン課題ほか				約2時間
8. 読解・聴解トレーニング 聴解課題 学習生活語彙7 読解課題 練習問題・内容理解・質疑応答 ※語彙・漢字課題					
予習	教科書 pp. 70～75 意外な意味を持つ言葉がキーワード 例題				約2時間
復習	オンライン課題ほか				約2時間

○授業計画		科 目 名	日本語2（Japanese 2）	授業コード	A023151
		担当教員	平野 ゆみ		
学修内容					
9. 確認テスト					
ここまでの学習内容について確認するテストを行います。					
予習	これまでの学習内容について復習				約3時間
復習	オンライン課題ほか				約1時間
10. 読解・聴解トレーニング					
聴解課題	聞き取りのポイント1				
読解課題	練習問題・内容理解・質疑応答				
※語彙・漢字課題					
予習	教科書「練習」編 pp. 80～83				約2時間
復習	オンライン課題ほか				約2時間
11. 読解・聴解トレーニング					
聴解課題	聞き取りのポイント2				
読解課題	練習問題・内容理解・質疑応答				
※語彙・漢字課題					
予習	教科書「練習」編 pp. 84～87				約2時間
復習	オンライン課題ほか				約2時間
12. 読解・聴解トレーニング					
聴解課題	聞き取りのポイント3				
読解課題	練習問題・内容理解・質疑応答				
※語彙・漢字課題					
予習	教科書「練習」編 pp. 88～91				約2時間
復習	オンライン課題ほか				約2時間
13. 読解・聴解トレーニング					
聴解課題	聞き取りのポイント4				
読解課題	練習問題・内容理解・質疑応答				
※語彙・漢字課題					
予習	教科書「練習」編 pp. 92～95				約2時間
復習	オンライン課題ほか				約2時間
14. 読解・聴解トレーニング					
聴解課題	聞き取りのポイント5				
読解課題	練習問題・内容理解・質疑応答				
※語彙・漢字課題					
予習	教科書「練習」編 pp. 96～99				約2時間
復習	オンライン課題ほか				約2時間
15. 期末試験1					
筆記試験（全クラス共通問題）					
予習	これまでの学習内容についての復習（読解問題、語彙、文法）				約3時間
復習	これまでの学習内容についての復習（語彙、文法）				約1時間
16. 期末試験2					
口頭試験（各クラス）					
予習	これまでの学習内容についての復習（読解問題、聴解問題）				約4時間
復習					